

第5・6学年国語科学習指導案

日時 平成20年10月10日(金) 5校時
児童 5学年 男7名 女2名 計9名
6学年 男3名 女4名 計7名
授業者 教諭 中 居 千 寿

〈5学年〉

1 単元名 学習したことを生かして

2 学習材名 『大造じいさんとガン』 椋 鳩十 (光村5年下)

3 単元について

(1) 学習者観

ア 既習の学習経験

『新しい友達』では、登場人物の心情に寄り添いながら、その変化に沿って物語を読んだり、自分なりの感想をもつ学習をしてきた。この作品では、3つの場面に出てくるクロッカスがどのような役割をしているのか考えながら読むことができた。『白いぼうし』では、色やにおい等情景を想像させる言葉を手がかりに読んだり、感想をまとめたりする学習をした。ここでは、ファンタジー作品に着目して、あまんきみこの作品を読み味わった。

『ごんぎつね』では、登場人物の心情や情景描写を叙述をもとに想像しながら読んだ。

イ つけたい力

これまでの学習を生かし、本単元では、人柄や心情の移り変わりを情景描写に視点をあてて読み取る学習をしたい。情景描写をもとに大造じいさんの心情の変化をストーリーマップに表していく学習が効果的に進めていけると考える。

椋鳩十の作品を並行読書することにより、児童に情景描写で表現されている心情や椋鳩十さんの世界を味わわせたい。また、それぞれの方法でまとめさせたい。

(2) 学習材観

椋鳩十の作品は大自然の動物を中心に書いた物語が多い。『大造じいさんとガン』は、残雪と四年間にわたる知恵比べの様子が、テンポよく書かれている。事件の経過もわかりやすく、人物の描写やその背景を彩っている情景描写も生き生きとしている。作品は、前書きと四つの場面からなり、一年間という単位の中で一つずつの出来事を丹念に描き、それを次の伏線として設定し、その上に次の出来事を積み上げていくという形式をとっている。本単元では、ガンの頭領残雪と対立関係にある大造じいさんの心情が、憎しみから感動へ変化していく様子を読み取り、主題について考えることができると考える。

(3) 学習指導観

①理解する力

ア 国語力の育成のための授業改善

作品の中で、強く心に残ったところや関心のあるところをストーリーマップ作りの観点に沿って叙述からよく調べ考えを明らかにしていく。このときに椋鳩十の他の作品と比べながら共通点や相違点にも明らかにしていく。

②伝え合う力

自分の作ったストーリーマップを相手に伝えるため、正確さやわかりやすさ、順序を考えて紹介する。ストーリーマップを作る際は、強く心に残ったところや関心のあるところを中心として編集していく。また、対話形式の学習を取り入れることで、挿絵や叙述を根拠として自分の考えを述べる活動をしていく。

学習したことを生かして、主体的に学習を進め、自分に合っためあてをもって学習を進めさせる。自分なりの方法で『大造じいさんとガン』をまとめていく。

〈6学年〉

1 単元名 学習したことを生かして

2 学習材名 『海の命』 立松 和平 (光村6年下)

3 単元について

(1) 学習者観

ア 既習の学習経験

『カレーライス』では、叙述に即して読むとともに、登場人物の心情に共感したり、反発したりしながら読んでいることに気づき、「物語を読む」ことについて考える学習をしてきた。

『大造じいさんとガン』では、場面が移り変わるとともに、人物の結びつきや気持ちに変化する様子を読み取る学習をした。ここでは、情景描写をもとに登場人物の心情の変化を読み取った。さらに、椋鳩十の作品を読むことを発展学習で取り上げ、椋鳩十の作品を読み味わった。

イ つけたい力

これまでの物語の学習では、人柄や心情の移り変わりを登場人物の行動や会話文から読み取る学習をしている。また、情景描写に視点をあてて人柄や心情の移り変わりを読み取り、心情曲線に表していく学習もしてきた。

そこで本単元では、今までの学習をもとにしながら、感動に浸る読みをさせたい。

『海の命』は作者の作り上げた筋の展開を追いながら情景や場面を想像し、そこに躍動する登場人物の姿を自らの胸の中で作り上げていくことのできる作品である。主人公太一と同じ時期の児童に内省の目を培い、成長の姿を見つめることを期待して、この作品に取り組ませていきたい。

(2) 学習材観

『海の命』には、海という自然を舞台に、主人公の成長の姿が描かれている。一人の人間の成長には周囲の人間の存在が大きく関わってくることや人間の成長の過程には何らかの影響を持つ事物や事象があることに気付かせてくれる作品である。作品は、六つの場面から構成されている。

それぞれの場面を貫いて流れるものは、一人の少年の父親たちが生きた海に寄せる熱い思いであり、父の死を乗り越え、父をしのぐ漁師を目指した成長の姿である。本単元は、登場人物太一の少年期から始まり、青年、壮年になるまでの生涯が描かれている。時間とともに展開するこの物語の中のどの時期の太一が、児童の今にあたるのか考えながら読むことができる。また、大人になることの意味を考え、自らを見つめながら読むことのできる作品であると考えられる。

(3) 学習指導観

①理解する力

ア 国語力の育成のための授業改善

作品の中で、強く心に残ったところや関心のあるところをストーリーマップ作りの観点に沿って叙述からよく調べ考えを明らかにしていく。このときに『山の命』と比べながら共通点や相違点、作者の思いにも明らかにしていく。

②伝え合う力

自分の作ったストーリーマップを相手に伝えるため、正確さやわかりやすさ、順序を考えて紹介する。ストーリーマップを作る際は、強く心に残ったところや関心のあるところを中心として編集していく。また、対話形式の学習を取り入れることで、挿絵や叙述を根拠として自分の考えを述べる活動をしていく。

学習したことを生かして、『海の命』の太一の生き方、『今、君に伝えたいこと』で小澤征爾さんが伝えたい生き方、『生きる』でどんな生きる姿が描かれているか読み取り、生き方について自分なりにまとめていく。

イ 単元の全体構想

椋鳩十の作品を多読する中で、子供達が個々に感じた作品のおもしろさを紹介する活動を設定し、楽しみながら国語力を高められるようにしたい。本単元の学習をとおして、今までの学習を生かしまとめることを確認して、それぞれの学習の見通しをもたせる。自分なりの方法でまとめさせるようにする。

第一次では、作者と子供達が出会う。椋鳩十について知っていることや知っている作品について話し合う。学習したことを生かしてまとめるための学習計画の確認をする。学習と並行し、生き方について考える作品群を読む活動を行う。ここでは、作品を読んだ感想などを自作の「国語大辞典」に書き留めさせる。このことで、作品の中の強く心に残ったところや関心のあるところの叙述に着目して整理できると考える。

第二次では、『大造じいさんとガン』を学習材として、場面構成・登場人物の性格・強く心に残ったところや関心のあるところを読み取る活動を行う。この作品を通して情景描写の効果について話し合う活動を行う。また、言葉や文章などの表現に寄り添いながら客観的に作品を読み取る力を付けさせるためにストーリーマップを作らせ、作品全体の構造をとらえさせる。

第三次では、『大造じいさんとガン』での学習を生かし、自分なりの方法でまとめ互いのよさを探し、評価しあうことのできる子供を育てていきたい。

ウ 指導の手だて

本単元では、グループでの話し合いの活動を入れる。二人組の対話など、形態を変えながら行う。これは、子供に主体的な学習の場が保証されるよさがある。

また、他者との関わりの中で自分の考えを述べたり、意見を聞いたりすることにより、個々に考えを深めたり広げたりと確かなものとする事ができるよさもある。

本時のねらいは、なぜ、大造じいさんは残雪をただの鳥とは思えなくなったのかを叙述をもとに読み取ることである。そのために話し合いの柱を設定し、話し合いを進めていく。ここで、既習のストーリーマップをもとに、作品全体をとらえながら本時の読みが深められるようにさせる。話し合いの学習形態として、学習リーダーによる司会を取り入れることと、二人組の対話を組み入れることにより、主体的な学習になるようにしていく。また、複式学級の特性を生かし、一単位時間の終末には、お互いが学習したことの交流も行う。

4 単元の指導目標

- ◎椋鳩十の多くの作品にふれ、一人一人の考え方や感じ方の違いに気付いて読もうとしている。
- ◎叙述をもとに想像しながら読み取ったことをストーリーマップに表すことができる。
- ◎場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読むことができる。
- ◎自分なりの方法で『大造じいさんとガン』をまとめることができる。

5 単元の評価規準

ア 語の関心・意・趣	イ 読む能力	ウ 書く能力	エ 語の関心・意・趣・動
①椋鳩十の作品に興味をもち進んで読もうとしている。 ②自分なりの方法でまとめようとしている。	①登場人物の人柄や心情を叙述をもとに読んでいる。 ②場面の情景を叙述をもとに想像して読んでいる。	①必要な事柄を集め、伝えたい内容が伝える相手にわかるようにストーリーマップを作っている。 ②自分なりの方法でまとめている。	①表現したり理解したりするために必要な語句について辞書を活用し調べる方法を理解している。

イ 単元の全体構想

立松和平の他の作品を読むことによって、子供達が個々に感じた作品のおもしろさを紹介する活動を設定し、楽しみながら国語力が高められるようにしたい。本単元の学習をとおして、今までの学習を生かしまとめることを確認してそれぞれの学習の見通しをもたせる。自分なりの方法でまとめさせるようにする。

第一次では、作者と子供達が出会う。先に読んでいる『山の命』と『海の命』の似ているところや違いを話し合うことから立松和平の他の作品に関心を持たせる。また、これまでの学習経験を生かしてまとめるための学習計画の確認をする。

学習と並行し、生き方について考える作品群を読む活動を行う。このことで、作品を読んだ感想などを自作の「国語大辞典」に書き留めさせる。作品の中の強く心に残ったところや関心のあるところの叙述に着目して整理できると考える。

第二次では、『海の命』を学習材として、場面構成・登場人物の性格・強く心に残ったところや関心のあるところを読み取る活動を行う。この作品を通して、作品の心を支える言葉について話し合う活動を行う。また、言葉や文章などの表現に寄り添いながら客観的に作品を読み取る力を付けさせるためにストーリーマップを作らせ、作品全体の構造をとらえさせる。

第三次では、『大造じいさんとガン』での学習を生かし、『海の命』の太一の生き方、『今、君に伝えたいこと』で小澤征爾さんが伝えたい生き方、『生きる』でどんな生きる姿が描かれているか読み取り生き方について自分なりにまとめて互いのよさを探し、評価しあうことのできる子供を育てていきたい。

ウ 指導の手だて

本単元では、グループでの話し合いの活動を入れる。二人組の対話や四人組での話し合いなど、形態を変えながら行う。これは、子供に主体的な学習の場が保証されるよさがある。また、他者との関わりの中で自分の考えを述べたり、意見を聞いたりすることにより、個々に考えを深めたり広げたりと確かなものとする事ができるよさもある。

本時のねらいは、なぜ太一はクエを殺さなかったのだろうかということに叙述をもとに読み取ることである。そのために話し合いの柱を設定し、話し合いを進めていく。ここで、既習のストーリーマップをもとに作品全体をとらえながら本時の読みが深められるようにさせる。話し合いの学習形態として、学習リーダーによる司会を取り入れることと、二人組の対話を組み入れることにより、主体的な学習になるようにしていく。また、複式学級の特性を生かし、一単位時間の終末には、お互いが学習したことの交流も行う。

4 単元の指導目標

- ◎生き方について考える多くの作品にふれ、一人一人の考え方や感じ方の違いに気付いて読もうとしている。
- ◎叙述をもとに想像しながら読み取ったことをストーリーマップに表すことができる。
- ◎場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読むことができる。
- ◎「生き方」について自分の考えをまとめることができる。

5 単元の評価規準

ア 語の関心・意・趣	イ 読む能力	ウ 書く能力	エ 語の関心・意・趣・動
①生き方について書かれた作品に興味をもち進んで読もうとしている。 ②生きるについて自分の考えをまとめようとしている。	①登場人物の人柄や心情を叙述をもとに読んでいる。 ②場面の情景を叙述をもとに想像して読んでいる。	①必要な事柄を集め、伝えたい内容が伝える相手にわかるようにストーリーマップを作っている。 ②自分の考えを意図をはっきりして書こうとしている。	①表現したり理解したりするために必要な語句について辞書を活用して調べる方法を理解している。

6 学習指導計画

第5学年 学習材名 『大造じいさんとガン』(10時間)

次	時	学 習 活 動	教 師 の 支 援	具体の評価規準
第一 次	1	(1)学習計画の確認 ・『大造じいさんとガン』の読み聞かせ学習計画をたて、見通しをもたせる。 ・『大造じいさんとガン』	・読み聞かせをすることで、	
	2	の学習を通して、内容や書き方の特徴をつかみ、読み取ったことを生かして、自分なりの方法でまとめるための計画を立てる。	・あらすじを大きくとらえさせる。書かれている内容の大体を登場人物や作品の舞台などからとらえさせていく。 ・『大造じいさんとガン』を学習する中、作品を読み進める視点を確認する。	
第二 次		自由読書 椋鳩十の作品 並行読書	・自由読書については、「国語大辞典」に読書記録を残し、あとで振り返りができるようにする。	
	3	(1)作品の構造をとらえ、ストーリーマップを作成する。	・場面の情景や登場人物の心情の変化から作品のクライマックスを捕らえさせるようにする。	イー① 登場人物の心情の変化を叙述から読み取っている。【発言・ノート】
	4	(2)ストーリーマップの交流をし、ストーリーマップの修正をする。	・交流の中で場面ごとにどんな事件が起こり、作品のクライマックスはどこ場面なのか確認させる。	【発言・ノート】 イー② 場面の移り変わりや情景を叙述をもとに想像しながら読んでいる。
	5	(3)作品のクライマックスの確認をし、学習課題を設定する。「なぜ、大造じいさんは残雪をただの鳥とは思えなくなったのか」	・作品のクライマックスは三の場面であることの確認をし、学習課題を設定する。 ・「なぜ、大造じいさんは残雪をただの鳥とは思えなくなったのか」という学習課題をストーリーマップや重要語句をもとに解決していく。	【発言・ノート】 ウー① 必要な事柄を集めて、ストーリーマップを書いている。【作品】
6 本時	(4)学習課題の解決をする。			
第三 次	7	(1)自分なりの方法でまとめをする。	・自分なりの方法でまとめられるように、教科書の「大切」をもとに振り返り、学習したことをもとにまとめさせる。	アー② 自分なりの方法でまとめようとしている。 【態度の観察】
	10	(2)互いのまとめを発表し合い、学習を振り返りをする。	・相互評価し合い、自己の学習の振り返りができるようにする。	エー① 辞書を活用して、必要な語句を正確に使っている。 【発表・ノート】

6 学習指導計画

第6学年 学習材名 『海の命』(10時間)

次	時	学 習 活 動	教 師 の 支 援	具体の評価規準
第一 次	1	(1)学習計画の確認 ・三つの作品の読み聞かせ、学習計画をたての見通しをもたせる	・読み聞かせをすることで、共通主題をつかむ	
	2	・『海の命』の学習を通して、内容や書き方の特徴をつかみ、読み取	・あらすじを大きくとらえさせる。書かれている内容の大体を登場人物や作品の舞台などからとらえさせていく。 ・『海の命』を学習する中、作品を読み進める視点を確認する。	
第二 次		自由読書 <u>生き方について書かれた価値</u> 並行読書	・自由読書については、「国語大辞典」に読書記録を残し、あとで振り返りができるようにする。	
	3	(1)作品の構造をとらえ、ストーリーマップを作成する。	・場面の情景や登場人物の心情の変化から作品のクライマックスを捕らえさせるようにする。	イー① 登場人物の心情の変化を叙述から読み取っている。【発言・ノート】
	4	(2)ストーリーマップの交流をし、ストーリーマップの修正をする。	・交流の中で場面ごとにどんな事件が起こり、作品のクライマックスはどこ場面なのか確認させる。	イー② 場面の移り変わりや情景を叙述をもとに想像しながら読んでいる。
	5	(3)作品のクライマックスの確認をし、学習課題を設定する。「なぜ、太一はクエを殺さなかったのだろうか」	・作品のクライマックスは三の場面であることの確認をし、学習課題を設定する。 ・「なぜ、太一はクエを殺さなかったのだろうか」という学習課題をストーリーマップや重要語句をもとに解決していく。	【発言・ノート】 ウー① 必要な事柄を集めて、ストーリーマップを書いている。【作品】
6 本時	(4)学習課題の解決をする。			
第三 次	7	(1)『海の命』で読み取った太一の生き方と他の二つの作品からどんな生きる姿が描かれているか読み取り生き方について自分なりにまとめを書く。	・生き方について考えた自分なりの考えをまとめさせる。	アー② 工夫して朗読しようとしている。 【態度の観察】
	9	(2)考えを発表する。	・相手に伝わるように意図をはっきりさせて発表できるようにさせる。	ウー② 自分の考えを意図をはっきりして書こうとしている。
	10	(3)学習を振り返り、学習のまとめをする。	・相互評価し合い、自己の学習の振り返りができるようにする。	【ノート】

7 本時の展開

(1) 本時のねらい

- ・なぜ大造じいさんは残雪をただの鳥とは思えなくなったのか叙述を根拠として読み取り、対話することを通して読み深めることができる。
- ・自分の考えをまとめることができる。

(2) 具体的評価基準

観点	A 十分満足	B 概ね満足	C への支援
読むこと	・心情や描写を味わいながら、自分の考えを深めようとしている	・登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読んでいる。	・ノート指導を工夫し、考える上でのヒントをもとに読み取らせる。
言語事項	・自分の意図が分かるように自分の考えを効果的にまとめている。	・自分の考えをもつてまとめている。	・大切な言葉をあげ、心情を読み取らせる。

(3) 展開

7 本時の展開

(1) 本時のねらい

- ・なぜ、太一はクエを殺さなかったのか叙述を根拠として読み取り、対話することを通して読み深めることができる。
- ・自分の考えをまとめることができる。

(2) 具体的評価基準

観点	A 十分満足	B 概ね満足	C への支援
読むこと	・心情や描写を味わいながら、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている	・登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読んでいる。	・ノート指導を工夫し、考える上でのヒントをもとに読み取らせる。
言語事項	・自分の意図が分かるように自分の考えを効果的にまとめている	・自分の考えをもつてまとめている。	・大切な言葉をあげ、心情を読み取らせる。

(3) 展開

指導と評価のための創意工夫	学習内容と主な学習活動	段階	学習内容と主な学習活動	指導と評価のための創意工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・前時のまとめをもとに対話し、前時想起をさせる。 	1 対話で前時までの想起をする。 ・前時の振り返りをし、キーワードをつかもう 2 本時の学習課題を確認する。 大造じいさんの心の変容についてを考えよう	つかむ 5分	1 前時までの想起をする。 ・前時の振り返りをし、キーワードをつかもう 2 本時の学習課題を確認する。 太一の心の変容を生き方について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のまとめをもとに対話し、前時想起をさせる。
<ul style="list-style-type: none"> ・本文をもとに登場人物の叙述を根拠として話し合いができるようにする。 ・残雪のこれまでの行動から大造じいさんの心がどのように変わっていったのか想像させる。 ・対話することの楽しさを味わわせる。 ・題名に隠された作者の思いに気付かせる。 ・並行読書をもとに話させる。 ・話し合いをもとに課題に対するまとめを書かせる。 	3 学習課題を解決する。 (1)対話をする ・大造じいさんと残雪の関係について対話しよう。 ・「大造じいさんとガン」という題名の「と」の意味について考えよう *心の通い合い(絆)に気付かせる (2)グループトークキングをする。 ・「大造じいさんとガン」を読んで心に残ったことを話し合う。	深める 30分	3 学習課題を解決する。対話をする。 (1)対話をする。 ・「海のクエ」ではなく、どうして「海の命」という題名になったのだろう。 (2)グループトークキングをする。 ・太一の生き方について考えよう ・「海の命」を読んで、心に残ったことを話し合おう ・「命」について	<ul style="list-style-type: none"> ・対話することの楽しさを味わわせる。 ・追い求めていたクエに会い、葛藤している太一の心情を想像させる。 ・題名に隠された作者の思いに気付かせる。 ・並行読書をもとに話させる。 ・話し合いをもとに課題に対するまとめを書かせる。
<ul style="list-style-type: none"> ・学習して思ったことをまとめに書く。 ・学習してわかったことと対話する活動を通して発見した友達のよさを書くことができるようにする。 	7 学習のまとめをする。 8 評価をする。(自己評価・相互評価) ・学習を振り返って自己評価をする。(内容面) ・相互評価をする。(付箋)	まとめ 10分	6 学習のまとめをする。 7 評価をする。(自己評価・相互評価) ・学習を振り返って自己評価をする。(内容面) ・相互評価をする。(付箋)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習して思ったことをまとめに書く。 ・学習してわかったことと対話する活動を通して発見した友達のよさを書くことができるようにする。
次時につながる学び			次時につながる学び	
<ul style="list-style-type: none"> ・『大造じいさんとガン』で読み取った内容を自分なりの方法でまとめる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・『海の命』で読み取った太一の生き方と他の二つの作品からどんな生きる姿が描かれているか読み取り生き方について自分なりにまとめを書く。 	

大造じいさんとガン 椋鳩十

大造じいさんの気もちの変容を考えよう

ただの鳥

たかが鳥

- ・ばかにしている
- ・見くだしている

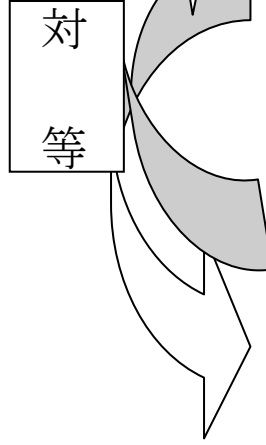
同じ人間
神様つかい
英雄

大造じいさん

残雪

心の通い合い
きずな

大造じいさん
と
ガン



勇気と責任感を持っている残雪をすごいと思いました。どんな時でも逃げないように自分も頑張りたいです。

太一の心の変容を生き方について考えよう

泣きそうになりながら

殺したいのに殺せない

「おとつ、ここにおられたのですか」

ふつとほほえみ

瀬の主

殺さないですんだ

クエに向かって

もう一度えがおを作った

海

クエ
の
いのち

すべての生き物

自然

太一の生き方

クエ

太一

共存

自然

人間

命

つづいている→父も・
生きていける→漁師として

太一の生き方や海の命を守り続ける漁師としてのずっとつながっている伝統のよなもの理解することができてよかった。

ストーリーマップ